

第16回中学生まちづくり議会



7月25日、次世代を担う中学生に市政への関心を深めてもらうことを目的とした「中学生まちづくり議会」が開催されました。市内の中学校5校からの代表者各3名が中学生議員となり、市政に対する質問や提案を述べました。ここでは、出された質問や意見の一部と、議員提出議案の内容を紹介します。

参加生徒（敬称略）

上段左から【本庄第一中】島村美沙・小畑実由・小林夢明【本庄西中】安田梨々花・鹿田珠奈末・藤田駿弥
下段左から【児玉中】黒澤昂・國藤萌々香・森保寧【本庄南中】南原心咲・岩崎一色・岩脇百花
【本庄東中】篠崎南海・山口耕平・山田茉緒



本庄東中学校
山口 耕平 議員

▶議員提出議案 今後1年間の全中学校での取組を提案

命を守る交通ルールを広めよう

本庄市内では、交通ルールを守らない小中学生が増加していると聞きます。

そのため、交通ルールを広めていきたいと思えます。

具体的には、各校の校内放送での呼びかけを行ったり、交通安全を促すポスターや画像、動画の作成をしたりしていただきたいと思えます。

そして、このような取組を本庄市の各中学校で行うことにより、交通安全に対する理解が深まり、本庄市に住む一人ひとりが交通ルールを意識し、本庄市がより住みやすい街になると思えます。



本庄西中学校
鹿田 珠奈末 議員

本庄道路開通に伴う地域の再開発について

質問…国道17号本庄道路開通に伴い、バイパス周辺に人が集まるような再開発の計画はありますか。計画や進捗状況をSNSでPRするのはどうですか。

答弁…現在、バイパス周辺の具体的な開発計画はありませんが、道路の開通を見据えて、「道の駅」の設置や産業団地の開発などを考えていきます。市では、LINEやYouTubeなどを使ってPRしていますが、SNSを通じて若い人に知ってもらうこと、また発信してもらうことは、これからのまちづくりに必要なことだと考えますので、一緒に取り組んでいただければと思います。



児玉中学校
黒澤 昂 議員

1人1台端末の推進に向けて

質問…令和2年度から学校に1人1台端末が導入されましたが、全家庭で端末を活用していくために、市はどのような政策を考えていますか。私たち生徒ができることは、何ですか。

答弁…全家庭で端末を活用できるように、市では通信環境を整っていない家庭に通信機器の貸出を行っています。また、市内36の公共施設には、公衆Wi-Fiの環境を整備しています。家庭での活用にあたり、皆さんには端末を正しく使う技術、そしてインターネットなどを適切に利用する情報モラルを身に付けていただき、学びを深めて欲しいと思います。



本庄東中学校
山田 茉緒 議員

2つの主要駅のつながりを深くしたい

質問…本庄駅と本庄早稲田駅の2つの主要駅と周辺をつなぐ交通網として、レンタル自転車や自転車専用通行帯を整備することは可能ですか。

答弁…約9年前、市が2つの駅間で行ったレンタルサイクルの実証実験では、通勤や通学での利用が多く、導入は見送りました。また、自転車用の通行帯整備は、歩道の拡幅のために土地を買う必要があります。実現に向けては課題もありますが、自転車・歩行者の安全確保、そして駅を中心とした地域のにぎわい創出のため、今後も私たちと一緒に考えていきたいと思います。



本庄南中学校
南原 心咲 議員

本庄市の活性化について

質問…地域の活性化について、市はどのように取り組んでいますか。児童生徒による動画での魅力発信、市の知名度を高める大規模な「お祭り」の開催を提案します。

答弁…市の公式YouTubeチャンネルのほか、各種SNSを活用し、情報発信を行っています。児童生徒による魅力発信は非常に効果的な方法ですので、ルールを守ったうえで積極的な発信をお願いします。そのほかにも今年11月には、企業同士の連携や特産品のPRの場として、新たなイベント「産業フェスタ」を開催するなど、さまざまな方法で市の魅力を発信し、活性化を図っていきます。



本庄第一中学校
小畑 実由 議員

本庄市における地球温暖化の影響の有無と、本庄市としての対策や取組について

質問…世界的な関心事である地球温暖化、本庄市にも影響はあるのでしょうか。

地球温暖化に対して市が取り組んでいる、また、今後取り組む政策は何ですか。
答弁…今年6月の降ひょう被害などの自然災害は、少なからず地球温暖化の影響があると考えています。市では、市民や事業者による太陽光発電設備の設置など温暖化防止対策への支援、また、緑のカーテンやエコライフデザインなどの啓発活動を行っています。ゼロカーボンシティの実現などを考え、「世のため、後のため」、この大きな問題に取り組んでいきます。

※質問・答弁の内容は要約して掲載しています。